

平成30年度信託研究奨励金贈呈対象

1. 新規研究（自由研究）

NO.	氏名および職名	研究テーマ
1	神戸大学大学院法学研究科教授 八田 卓也	新民法下における詐害信託取消の法理のあり方について－相対効原則の修正を中心に－
2	神戸大学大学院法学研究科教授 淵 圭吾	契約法・不法行為法との関係から見た信託法の特質とその租税法への示唆
3	学習院大学法学部教授 竹中 悟人	信託契約を支える諸概念の法的位置づけについて
4	筑波大学大学院ビジネスサイエンス系 准教授 小林 和子	契約締結過程における投信会社と販売会社の民事責任
5	東北大学大学院法学研究科准教授 温 笑侗	事業承継型株式信託のコーポレートガバナンス
6	金沢大学人間社会研究域法学系准教授 早川 咲耶	受託者個人の対第三者責任について
7	神戸大学大学院法学研究科准教授 行岡 睦彦	証券投資信託のガバナンス構造の研究
8	東北大学大学院法学研究科准教授 藤岡 祐治	信託以外の投資媒体と信託に対する課税
9	中京大学経済学部教授 小林 毅	日本銀行によるETFおよびJ-REITの買い入れが価格形成に及ぼす影響
10	明治大学商学部准教授 浅井 義裕	中小企業の事業承継における生命保険・信託の役割に関する実証研究
11	中央大学法学部助教 福田 智子	詐害信託と詐害行為取消権との関係からみる信託本質論の検討

2. 新規研究（課題研究）

○仮想通貨の顧客保護のための信託の活用

NO.	氏名および職名	研究テーマ
12	大阪府立大学学術研究院第2学系群社会 科学系教授 辻 峰男	信託と仮想通貨の資産性

○海外における業態別規制から機能別規制への改正の動向とその考え方について

13	名古屋学院大学法学部教授 坂東 洋行	海外における業態別規制から機能別規制への改正の動向とその考え方について
----	-----------------------	-------------------------------------

○海外の信託兼営金融機関における利益相反とその考え方について

14	香川大学法学部准教授 溝渕 彰	海外の信託兼営金融機関における利益相反管理とその考え方について －米国の状況を中心に－
----	--------------------	--

○受益権を複層化した場合の課税のあり方

15	立命館大学大学院経済学研究科博士課程 後期課程3年 中嶋 美樹子	信託を用いたクロスボーダー金融スキームと信託税制 －受益権が複層化した場合の課税モデルの構築－
----	--	--

3. 追加研究（自由研究）

NO.	氏名および職名	研究テーマ
16	宮城教育大学教育学部准教授 高橋 脩一 <small>タカハシ シュウイチ</small>	米国におけるcharitable trustの調査分析を通じた、博物館等での学術資料の収集等における公益信託の利用可能性とその問題点についての検討
17	名古屋経済大学大学院会計学研究科教授 萩原 俊彦 <small>ハギハラ トシヒコ</small>	後見制度支援信託と成年後見制度の補完関係について（経済学的視点から）
18	広島経済大学経済学部教授 高石 哲弥 <small>タカイシ テツヤ</small>	J-REIT市場環境の動的研究 — 相関行列及びマルチフラクタル解析によるアプローチ—
19	九州大学大学院経済学研究院教授 内田 交謹 <small>ウチダ コウキン</small>	信託を用いた業績連動型役員報酬の実証分析
20	早稲田大学政治経済学術院講師 FARHAD TAGHIZADEH-HESARY <small>ファルハド タギザデー ヘサーリ</small>	Comparison of Islamic Finance and Japan's Trust（日本の信託とイスラム金融の比較）

4. 追加研究（課題研究）

○海外における信託制度と課税の方法について

NO.	氏名および職名	研究テーマ
21	京都女子大学法学部准教授 的場 朝子 [代表者] 立命館大学経済学部教授 宮本 十至子 <small>マシバ アサコ</small>	（共同研究） 国際相続・贈与における信託の利用と課税問題